

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社 個ども家		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日	～	R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年2月1日	～	R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月1日	～	R8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月8日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門知識を持ち、経験年数10年以上及び創設時からの職員も専門知識の向上をはかっている。また、多職種支援として言語聴覚士の訓練も行っています。	訪問先の先生方とのコミュニケーションを大切にし、何でも気軽に相談して頂ける雰囲気づくりを心がけている。その上で、集団での過ごし方、行事の参加の仕方など、先生や保護者と連携を取りながら進めています。	専門用語をTPOで使い分け、先生方や保護者の方にも分かるようにお伝えできるようスキルアップを目指します。
2	毎週金曜日の職員会議にて報告を行い、個々の児童の情報の共有を図っているため、訪問支援員と保育士間の連携が出来ます。	園での様子やくれよんでの様子を細かに伝え連携を図っている。また、保護者への報告等もお帳面やline、面談等で詳しくお伝えしています。	
3	保育所等訪問支援員と職員間の連携が素晴らしい。また、全職員が学ぶことに意欲的だと感じる。開所当時から職員の入れ替わりが殆どなく療育内容の向上がはかれていると思います。	ネットや書籍等で情報を取得し、知識向上に繋げていきたいと思えます。	子どもたちがどこの地域でもこの園でも安心して集団活動に参加できるよう園、保護者、他機関との懸け橋になりたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先によっては意欲的に相談して下さる園とそうでない園があるので全ての園の先生方に遠慮なく相談していただけるような支援員でありたいと思う。	事業所の開始から7年目を迎える。離職者がなく障害福祉サービスの経験年数が5年以上の職員が多いためこれから訪問支援員としての育成に努めたいと思えます。	実績のある職員と一緒に訪問を行い支援員としての能力を身につけていきたいと思えます。
2			
3			